

新潟大学医歯学図書館における学修支援サービス

新潟大学学術情報部学術情報サービス課

高橋 千夏

要 旨

近年、学生の教育について、アクティブ・ラーニングへの転換が必要とされており、大学図書館も学修支援及び教育活動に積極的・直接的にかかわっていくことが求められている。

新潟大学附属図書館では平成28年度からの第3期中期目標期間の組織目標として「アクティブ・ラーニング及び学修支援の強化」を掲げており、医歯学図書館では組織目標の実現に向けて、①ラーニング・コモンズやグループ学習室等の活性化、②医歯学系の学生に向けたガイダンスや講習会の実施の2つのサービスに重点的に取り組んでいる。

本稿では、2つの取組みの具体的な内容について紹介する。

キーワード： 学修支援、アクティブ・ラーニング、ラーニング・コモンズ、文献検索ガイダンス

I はじめに

近年、学生の教育について、アクティブ・ラーニングへの転換が必要とされており、大学図書館も学修支援・教育活動に積極的・直接的にかかわっていくことが求められている。

本稿では、新潟大学医歯学図書館で最近重点的に行なっている学修支援サービスについて紹介したい。

II 新潟大学医歯学図書館と主なサービス対象者

新潟大学医歯学図書館は、新潟大学の医歯学系の学部や附属病院がある旭町キャンパスに所在し、正式名称は新潟大学学術情報基盤機構附属図書館旭町分館である。サービス対象や所蔵資料の性格が分かり易いように、平成18年度より新潟大学医歯学図書館と称している。

主なサービス対象者は、医・歯・看護学系の学部学生・大学院生、医学部・歯学部・附属病院・脳研究所の教員、看護師・薬剤師・研修医・医員・事務職員等の職員、本学の元教職員や同窓生、一般市民・放送大学生・新潟県内病院職員等の学外利用者である。

これらの利用者に対して、医歯学図書館職員8名でサービスを行なっている。(但し、カウンター業務は外部委託。)

III 新潟大学の中期目標・中期計画と附属図書館の組織目標

新潟大学は平成16年度に法人化し、国立大学法人新潟大学となった。法人化を機に、組織の見直し・業務の効率化等が行なわれ、業務の仕方が変化してきた。法人化後は、6年ごとに中期目標・中期計画を定めて業務を行なっており、各部署は大学の中期目標・中期計画に沿った組織目標・組織計画を立てて活動している。

新潟大学の中期目標・中期計画については、大学ホームページに詳しく掲載されているが、平成29年度の年度目標の中に、教育に関する事項として、「受動的学修態度から能動的学修態度への転換を図る初年次教育を構築し、それに続き高年次にも能動的学修を拡充する。」と掲げている¹⁾。

これに対応して、附属図書館では平成28年度からの第3期中期目標期間の組織目標のひとつとして「アクティブ・ラーニング及び学修支援の強化」を挙げている。

また、平成22年12月に文部科学省の学術情報基盤作業部会によって作成された「大学図書館の整備について(審議のまとめ)ー変革する大学にあって求められる大学図書館像ー」でも、大学図書館が学修支援及び教育活動に積極的・直接的にかかわって行くべきであるとしている²⁾。

附属図書館の組織目標に「アクティブ・ラーニングの強化」とあるが、平成24年文部科学省中央教

育審議会の「質的転換答申」では、一方的に教員が話す知識を学生が聞くだけの授業から、教員と学生が意思疎通を図りつつ、相互に刺激を与えながら、学生が主体的に問題を発見し解を見出していく能動的学修(アクティブ・ラーニング)への転換が必要であるとしている³⁾。

教員と学生、あるいは、学生同士のグループ学習を通してコミュニケーション能力を伸ばしていくことが重要となっている。

IV 医歯学図書館の重点的なサービス

「アクティブ・ラーニング及び学修支援機能の強化」という附属図書館の組織目標の実現に向けて、医歯学図書館では平成28年度から下記の2つのサービスに重点的に取り組んでいる。

- ①ラーニング・コモンズやグループ学習室等の活性化
- ②医歯学系の学生に向けたガイダンスや講習会の実施

以下、それぞれの具体的な内容について紹介したい。

1 ラーニング・コモンズやグループ学習室等の活性化

医歯学図書館では、学生の能動的学修(アクティブ・ラーニング)を支援するスペースとして、ラーニング・コモンズとグループ学習室を設けている。

「ラーニング・コモンズ」は、近年各大学図書館等に設置されている学修支援スペースであるが、文部科学省ホームページ「用語解説」では、「複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」を提供するもの。その際、コンピュータ設備や印刷物を提供するだけでなく、それらを使った学生の自学自習を支援する図書館職員によるサービスも提供する。」と説明されている⁴⁾。「コモンズ」とは、「共有のスペース」という意味であり、「ラーニング・コモンズ」は「皆が共に学ぶ共有のスペース」である。従来「図書館＝ひとりで静かに学ぶところ」というイメージであったが、ラーニング・コモンズは「グループで会話をしながら学ぶところ」であり、図書館の役割が変化してきていると言える。

医歯学図書館では、平成22年4月にラーニング・コモンズを開設している(図1)。

ラーニング・コモンズ、グループ学習室ともに、学習会話可能なスペースであるため、試験準備期間のグループ学習等によく活用されている。



図1 ラーニング・コモンズ

ラーニング・コモンズやグループ学習室をさらに活性化するために、まず、表1のように座席数の増設を行なった。

表1 ラーニング・コモンズやグループ学習室の座席数の増設

	平成28年4月1日	→ 平成29年4月1日
・全体	380	408(+28)
・増設場所		
ラーニング・コモンズ	18	31(+13)
マルチメディアホール	150	156(+6)
2・3階閲覧スペース	186	191(+5)
グループ学習室	24	28(+4)

また、協働学修を支援する機器等の設置・充実を図っており、現在の機器類の設置状況は表2のとおりである。

表2 電子黒板やホワイトボード等の協働学習を支援する機器類の設置

ラーニング・コモンズ	グループ学習室
可動式の机・椅子	可動式の机・椅子
パソコン 5台 (DVDドライブ付) ※内1台には、協働学習用の大型ディスプレイを設置	ホワイトボード
電子黒板(BIG PAD) 1台	インタラクティブ・ホワイトボード
ホワイトボード	◆ 館内貸出用ノートパソコン 20台
画像編集用パソコン・スキャナ	◆ ノートパソコンに接続できる27型ディスプレイの購入を検討中。
複合コピー機 2台	

ラーニング・コモンズやグループ学習室には、可動式の椅子・机・ホワイトボードを配置し、グループの人数や学習スタイルに応じて組み合わせを自由に変更できるようにしている。

ラーニング・コモンズに設置しているパソコンのうち1台には、協働学習用大型ディスプレイを接続しており、グループで大きな画面を見ながら討論して学習することができる。

を行なっている。

また、参加者へのアンケートによりガイダンスの評価を行い、改善につなげるようにしている。ガイダンスの内容や、開催時間、長さ等について、5段階で評価してもらい、その評価段階を付けた理由や受講の感想についても記入してもらっている。

② 平成28年度図書館主催ガイダンス

平成28年度は、医・歯・看護学系分野で特に重要な医中誌WebとPubMedのガイダンスを、図書館職員が講師となって実施した。医中誌Webは初級編と中級編を、PubMedは入門編を行なった。また、提供元から講師を招聘して、メディカルオンラインの講習会を実施した。それぞれの実施内容と参加人数は表4のとおりである。

表4 平成28年度図書館主催ガイダンス

医中誌Web (初級・中級) 図書館職員が 説明	実施日時	9月26日(月)～29日(木) 13:00～、15:00～ 約1時間
	実施回数	初級2回、中級2回 の合計4回 (初級3回、中級3回 で企画したが内2回は参加者なし)
	参加人数	4回合計 15名(学生 5、教職員 10)
	内容	【初級】検索の一連の流れ、基本的な操作方法の紹介 【中級】シソーラスを使った効率的な検索について
PubMed入門編 図書館職員が 説明	実施日時	12月19日(月)～22日(木) 16:20～17:00 約40分
	実施回数	合計4回
	参加人数	4回合計 9名(学生 3、教職員 6)
	内容	初心者向けの初歩的な検索方法の説明
メディカル オンライン	提供元の(株)メテオから講師を招聘。	
	実施日時	2月9日(木) 17:15～18:00 約45分
	参加人数	9名(学生2、教職員7)
	内容	基本的な操作、文献検索、「くすり」「プロダクト」DB、MYページ

③ 平成28年度ガイダンスの反省点と改善

平成28年度は、図書館職員が講師となって実施する文献検索ガイダンスを、初めての取組みとして行なったが、残念ながら参加者が非常に少なかった。

そこで、平成29年度前期は、実施日時について、図書館委員の先生等にいつ頃・何時からの実施にすれば多くの方に参加してもらえるかについて意見を伺ったりして検討を行なった。また、図書館委員の先生等に学生に参加の呼び掛けをしていただくようお願いしたり、メールでの開催通知を開催間際にリマインド送信したりして、広報を徹底して行なった。内容については、担当者の交替があったため見直しを行う余裕がなかったが、説明スライドを紙芝居的に見せるだけでなく、データベース画面で実際の操作方法を示しながら一緒に行なってもらえるよう心がけた。

④ 平成29年度前期ガイダンス

平成29年7月に平成29年度前期のガイダンスとして、医中誌Web初級編、PubMed入門編ガイダン

スおよびメディカルオンライン講習会を表5のように実施した。

医中誌Web初級編、PubMed初級編は、それぞれ合計4回実施したが、平成28年度に比べて参加人数は大分増加した。メディカルオンライン講習会の参加者も若干ではあるが増加している。

表5 平成29年度前期図書館主催ガイダンス

医中誌Web (初級) 図書館職員が 説明	実施日時	7月12日(水)～14日(金) 14:30～、16:30～ 約1時間
	実施回数	合計4回
	参加人数	4回合計 31名(学生 9、教職員 22)
	内容	検索の一連の流れ、基本的な操作方法の紹介
PubMed入門編 図書館職員が 説明	実施日時	7月18日(火)～20日(木) 14:30～、16:30 約45分
	実施回数	合計4回
	参加人数	4回合計 38名(学生 22、教職員 16)
	内容	初心者向けの初歩的な検索方法の説明
メディカル オンライン	提供元の(株)メテオから講師を招聘。	
	実施日時	7月21日(金) 16:30～17:15 約45分
	参加人数	12名(学生7 教職員5) ※事前申込者は20名、キャンセルがかなりあった。
	内容	基本的な操作、文献検索、「くすり」「プロダクト」DB、MYページ

⑤ 平成29年度前期の振り返りと今後の課題

平成29年度前期のガイダンス参加者に記入してもらったアンケートや、実施の際の感触から、前期ガイダンスを振り返ってみると、様々な意見があった。

「ガイダンスの時間が長い」という意見が複数あった。内容については、参加者それぞれのデータベース利用経験の違いにより評価がまちまちであるが、中には、検索のコツをまとめた資料をもらえればそれで足りるという意見の人もあった。また、図書館委員の先生や指導教員から言われて義務的に参加している人も感じるように感じられた。

今後の課題としては、まず、参加者を増やすためにはどうしたらよいか問題である。現在実施しているガイダンスでは特に参加者を学生だけに限定しているわけではなく学生・教職員全般に案内しているが、図書館が中心ターゲットとして考えている高学年の学生の参加が思ったほど多くなっていない。図書館委員の先生や学務係に照会してどのような日時に設定すれば多くの学生に参加してもらえるか検討してみたが、学部の授業スケジュールが過密であることもあり、なかなかこの日時に開催すれば確実に多くの人に参加してもらえるという日程の設定が行なえない。多くの学生に聞いてもらうためには、授業の一環として受講してもらおうのがよいが、学部の授業スケジュールとの兼ね合いもあり、学部の教員も文献検索の重要性は認識しているが新たに授業のコマを使って行うことまでは考えていないようである。

ガイダンスの内容や説明の仕方に関しては、一方

的な説明を聞いてもらうだけの形だと長時間集中が保てない。演習問題等も取り入れて一緒に実際に検索を体験してもらう工夫が必要だと思う。また、画面操作を一緒に行なってもらう際に、途中でわからなくなりついて来られなくなってしまう人も見受けられた。参加者の立場にたって、入力フィールドやクリックするボタンを丁寧にマウスポインタで示したり、様子を見て補助を行う職員を配置したりすることも必要である。

また、参加者が受講後に内容を振り返ったり、時間が経ってから実際に自分で必要な検索を行う際に参考書として利用し易い配布資料の作成を工夫していきたい。

参加者それぞれのレベルが非常にまちまちで、アンケートでのガイダンスの評価も分かれている。日頃の利用者対応時にもごく基本的なことがわからなくて困っている人がいるように見受けられる反面、ガイダンス参加者の中にはこの内容では長すぎて冗長であるという厳しい意見の人もあった。このようなレベルの違いに応じたガイダンスの実施や、図書館が設定した実施日に参加が難しい人のために個人やグループからの希望に応じたフレキシブルなガイダンスの実施、忙しくて参加が難しい人のためのホームページへの資料の掲載やパスファインダーの作成等も考えてみたい。

さらに、今まで行なってこなかった種類のデータベースの講習会や、電子ジャーナル、電子書籍の使い方のガイダンス等、取り扱うテーマについても検討していきたいと思う。

⑥ 高度な内容なガイダンスのニーズと対応

11月24日の病院図書室研修会の前、11月6日から14日にかけて、平成29年度後期ガイダンスを実施した。医中誌Web中級編、PubMed中級編のガイダンスを、それぞれ4回ずつ行い、医中誌Web中級編には合計30名、PubMed中級編には合計39名の参加があった。PubMed中級編は今回初めての開催で、MeSHを使った効率的な検索方法等について説明を行い、演習問題も取り入れて実施したが、より実践的・具体的な内容のガイダンスへのニーズがあることが強く感じられた。

中級編のガイダンスを実施して、やはり職員のスキルアップ、体制づくりが重要だと感じた。新潟大学では、2～3年で人事異動があるため、ガイダンスについて決まった担当者が継続して取り組むことができない状況である。特に、PubMedは、常にアップデートが行なわれており検索画面にも変化があり、英語のデータベースであることもあり、図書館

職員自身が詳しい使用方法を習得するのがなかなか難しい。検索する内容も医歯学系の専門的なことになるため、実際に利用者が望むような検索結果が得られているのかの判断を図書館職員が行うのは難しく、医歯学系の専門の学生や教職員を対象にガイダンスを行うことに、結構プレッシャーも感じる。しかし、特に実践的な内容の中級編のガイダンスの需要は確かにあると感じたので、やはり図書館職員としてスキルアップを図り役割を担っていく必要があると思う。

V ホームページ「図書館活用法」ページ

今回紹介したサービス等、新潟大学附属図書館が学生の学習支援のために行なっているサービスについて学生や教職員に知ってもらうために、ホームページに「図書館活用法」(URL(※医歯学図書館、学生のみなさんへのページ): http://www.lib.niigata-u.ac.jp/find_more/how_to_s_md.html) のページを設けている。



図3 ホームページ「図書館活用法」ページ

VI おわりに

今回は、学習支援サービスについて紹介したが、館内の環境整備、バランスのとれた資料(図書・雑誌・電子ジャーナル・電子書籍・データベース等)の構築、ガイダンス・ホームページ・日常の利用者対応を通しての学内外利用者への設備・資料への適切な利用案内、文献複写・現物貸借等の他機関との相互協力 等の日々の業務の遂行により、医療サービス支援の役割を担っていきたいと考える。

引用文献

- 1) 新潟大学. 中期目標・中期計画・年度計画. [引用 2017-12-1] Available from URL <https://www.niigata-u.ac.jp/university/about/operation/plan/>
- 2) 文部科学省学術情報基盤作業部会. 大学図書館の整備について（審議のまとめ）－変革する大学にあって求められる大学図書館像－. [引用 2017-12-1] Available from URL http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm
- 3) 文部科学省中央教育審議会. 新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～（答申）. [引用 2017-12-1] Available from URL http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm
- 4) 文部科学省. 用語解説. [引用 2017-12-1] Available from URL http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/attach/1301655.htm